

第15回契約監視委員会－議事概要－

1. 開催日時：平成25年7月18日（木） 14：00～17：20
2. 開催場所：本部棟 2階 第1会議室
3. 出席者：（委員会）：酒井委員長、川野辺委員、畑中委員、野家委員、有澤委員
（研究所）：黒木理事、竹内総務部長、
櫻井契約課長、黒澤監査・コンプライアンス室長 他
4. 議題：
 - （1）平成24年度下半期の随意契約の事後点検について
 - （2）平成24年度下半期の1者応札の事後点検について
 - （3）平成25年度第1四半期2年連続1者応札事後点検について
 - （4）平成25年度契約予定の2年連続1者応札事前点検について
 - （5）契約・調達に関する最近の動きについて
 - （6）最近の放医研をめぐる動きについて
 - （7）その他
5. 配付資料：
 - 1-1 平成24年度契約データ
 - 1-2 第15回契約監視委員会 参加者確認公募の件数について
 - 1-3 平成24年度競争性のない随意契約の状況について（概要）
 - 1-4 平成24年度契約（競争性のない随意契約）の状況
 - 2-1 平成24年度の一者応札の状況について（概要）
 - 2-2 平成24年度契約（一者応札）の状況
 - 2-3 平成24年度の2年連続一者応札の状況について（概要）
 - 2-4 2年連続して一者応札・応募となった事案フォローアップ票（平成24年度分）事後点検
 - 3-1 平成25年度第1四半期の2年連続1者応札の状況について（概要）
 - 3-2 2年連続して一者応札・応募となった事案フォローアップ票（平成25年度第1四半期分）事後点検
 - 4-1 平成25年度2年連続1者応札・応募等の事前点検について（概要）
 - 4-2 前年度2年連続一者応札・応募等事前点検票（平成25年度契約予定分）
 - 5 契約・調達に関する最近の動きについて（障害者優先調達促進法の施行に伴う物品等の調達）
 - 6 放射線医学総合研究所の最近の状況

参考資料1 契約監視委員会委員名簿

参考資料2 独立行政法人放射線医学総合研究所契約監視委員会規程

参考資料3 第15回契約監視委員会における「競争性のない随意契約」及び「一者応札・応募案件」に対する点検事案について

6. 議事概要：

(1) 契約監視委員会委員の変更及び配布資料の確認について

事務局より、契約監視委員会委員の変更について紹介があった。引き続き、議事次第に基づき、配付資料が確認された。また、参考資料3により、本日の委員会における審議案件について説明があった。

(2) 平成24年度下半期の随意契約の事後点検について

事務局より、資料1-1から1-4に基づき、平成24年度下半期の随意契約の状況について説明があり、特に問題は認められないとして了承された。

(主な議論)

- ・ 委員より、今年度の18件について、調達の必要性の観点から随意契約の理由を、また、契約金額の適正化の観点から調達価格が合理的であるという説明をできるようにしておくことが重要であるとの意見があった。
- ・ 委員より、放医研においては、「競争性のある随意契約」に分類される「参加者確認公募」を平成24年度から実施するなどしていることから、「競争性のない随意契約」は減っているものの、研究所における調達という特殊性を考えると、これ以上の競争性のない随意契約の削減は限界にきているものと思われるとの意見があった。

(3) 平成24年度下半期の1者応札の事後点検について

事務局より、資料2-1及び2-2に基づき、平成24年度の1者応札の状況について説明があり、特に事務局案で問題は認められないとして了承された。また、資料2-3及び2-4に基づき、2年連続1者応札・応募の状況について、第9回、第11回、第13回で了承された案件を取りまとめたものであり、参考配布である旨の説明があった。

(主な議論)

- ・ 委員より、より多くの業者に応札してもらえるように、可能性のある業者へ積極的に働きかけてはどうかという意見に対し、事務局より、ホームページに入札公告を掲載するとともに、過去に応札実績のあった業者へも参加を呼びかけているが、仕様内容に高度に専門的な知識が必要である等の理由により結果として1者応札になる場合が多い旨、説明があった。
- ・ 委員より、改善の余地のない案件については、調達の手続きに手間をかけるより、合理的な金額で調達することが重要ではないかとの意見があった。

(4) 平成25年度第1四半期2年連続1者応札事後点検について

事務局より、資料3-1及び3-2に基づき、平成25年度第1四半期2年連続1者応札の状況について説明があり、特に問題は認められないとして了承された。

(主な議論)

- ・ 委員長より、2年連続1者応札の改善のために、放医研としてどのように取り組んでいるかとの質問があり、事務局より、平成24年度から「参加者確認公募」を実施したこと、また、一般競争を行う

案件については、従前どおり公告期間を規定より長くするなどの措置を講じている旨、説明があった。

- ・ 委員より、電子入札システム導入の検討状況についての質問があり、事務局より、電子入札システムを導入する場合、電子認証のためのシステム構築等放医研側、企業側双方にシステムを導入してもらう必要があり、費用対効果を考慮すると導入には高いハードルが存在する旨、回答があった。
- ・ 委員より、研究の特殊性を考えると、特殊な物はどこの会社でも調達できるという物ではないので、応札者が限られてしまうというのはやむを得ないのではないかとの意見があった。

(5) 平成25年度契約予定の2年連続1者応札事前点検について

事務局より、資料4-1及び4-2に基づき、平成25年度2年連続1者応札・応募等の事前点検について、第9回、第10回、第12回、第14回で了承された案件を取りまとめたものであり、参考配布である旨の説明があった。

(主な議論)

- ・ 委員より、入札に参加しなかった業者に理由を確認したものについては、確認した結果を簡単に記載すべきとの意見があった。
- ・ 委員より、入札説明会に出てこなかった業者についても、過去の実績等を勘案して聴き取りをするよう努力すべきとの意見があった。

(6) 契約・調達に関する最近の動きについて

事務局より、資料5に基づき、契約・調達に関する最近の動きについて説明があった。また、事務局より現状の予定価格の設定方法について説明があり、委員より、適正な価格設定に向けた努力を工夫しながら継続的に行っている事を認識するとの発言があった。

(7) 最近の放医研をめぐる動きについて

事務局より、資料6に基づき、放射線医学総合研究所の最近の状況について説明があった。

また、事務局より、契約監視委員会の今後の予定について、次回は平成25年度上半期の状況を中心に審議いただくため、本年12月頃の開催を考えていること、また、必要に応じメール等による事前点検をお願いする場合もあり、今後も協力をお願いする旨の説明があった。

以上